

# 初めての植物観察通信・梅雨期編 H.26年6月15日

先日はお疲れ様でした。梅雨の晴れ間で、ゆっくりと植物を観察することができて良かったですね。今回は、初学者向けということ意識したつもりでしたが、ちょっと複雑な話が多くなってすみませんでした。中級クラス準備会の方にも解説頂き、和やかな中にも勉強になる観察会だったと思います。つい先月は、シャクナゲが満開だったのに、今日はそんなことも遠い日のように、山の植物たちもすっかり様変わりしていたのが印象的でした。

さて、当日見られた植物につきまして備忘録的にメモを作りましたのでお送りします。私の不勉強からわかりにくかったり、また、間違っていたりすることも時々(しばしばかも?)あるかと思います。そういったものは、この通信で訂正補足させていただきます。

まず、本日最初に観察したのは、ヒメクチナシでした。とても良い香りのする植物ですね。実が開かないのでクチナシというのだというお話は印象的でした(別の説もあるようです)。アカネ科の植物です。次に博物館の建物を抜けて、カスケード沿いで観察しました。ここでは、ドクダミが花盛りでした。花弁のように見えるのは、総苞と呼ばれるもので、その上の棒状の部分が花序です。たくさんの小さな花がついているのでした。総苞片が緑色になっている変わりものも見られましたね。その後は、家の周りなどで見られる植物をいくつか採り上げました。まず最初は、ニワゼキショウ。アヤメ科の植物で、同じ種なのに、花の色に2つのパターンが見られます。その周りには、小さなトキワハゼが生えていました。この植物は、長らくゴマノハグサ科として扱われていましたが、最近では、ハエドクソウ科とされています。山の中で、ナガバハエドクソウを見ましたが、その仲間です。続いてコモチマンネングサの解説をしていただきました。葉の付け根に、ムカゴと呼ばれるものがついていて、これがコモチの由来です。ムカゴは、ちょっとした刺激で、ポロリととれて土に落ち、再び新しい植物体に育ちます。チチコグサの仲間では、タチチコグサとチチコグサモドキを同時にみることで良かったです。葉の艶や形などで識別できるのですが、違いを覚えていますか?下の写真を見て思いだしてみてください。そして、小さなトウバナの花を観察しました。茎が四角いのがシソ科の特徴でしたね。その後は、クリの花を見たりしながら山に向かいました。



ヒメクチナシ



ドクダミ



ニワゼキショウ



トキワハゼ



コモチマンネングサ



タチチコグサ



チチコグサモドキ



トウバナ

カスケード沿いの煉瓦の間からは、ピンク色のネジバナが花を咲かせていました。とても小さいのですが、ランの仲間で、花をよく見るとカトレアのように見えます。さらに進んで森の入り口では、クマノミズキを紹介してもらいました。葉が対生なのが特徴でしたね。ミズキは、互生なので見分けられます。林の縁では、ムラサキニガナの花がすっと立っていました。外国産かと思う姿形ですが、在来植物です。春とはすっかり葉の形や大きさの変わったナガバタチツボスミレを見ながら、峠に着きました。峠では、ネズミモチが満開でした。雄蕊が二本でしたね。足元を見るとテイカカズラの花が落ちていました。スクリュー型の花が特徴的です。森を抜けると、アジサイが花盛りでした。青い花がきれいでしたね！花弁のように見えるのは、萼で、ガクアジサイでは、周りのものだけが目立つ装飾花となっていました。いわゆるアジサイは、真ん中のものまですべてが装飾花になっていたのでしたね。その後、アカメガシワを観察し、タイサンボクの花を使って、モクレン科の植物を勉強しました。雄蕊や雌蕊がたくさんあるのが特徴でしたね。こうして噴水に戻りました。



ネジバナ



ムラサキニガナ



ナガバタチツボスミレ



ネズミモチ



テイカカズラ



ガクアジサイ



アカメガシワ



タイサンボク

## 質問コーナー

行事の間に頂いた質問にお答えします。ご不明の点は、メールなどでもお問い合わせください。

**Qこの花は何でしょうか？**

**A**：キキョウソウです。観察会の時には、説明をしませんでしたが、芝生の中などに点々と生えています。北アメリカ原産のキキョウ科の植物です。別名は、ダンダンギキョウ。葉が心臓形で葉柄が無く、段々についていることからこの様に呼ばれます。似たものに日本在来のヒナギキョウがあります。こちらは長い柄の先に花をつけます。



お問い合わせは以下まで。

〒770-8070 徳島県徳島市八万町徳島県立博物館 Tel 088-668-3636 F A X 088-668-7197

茨木靖 (いばらぎやすし) Ibaragi-yasushi-1@mt.tokushima-ec.ed.jp

徳島県立博物館では、学芸員は交代勤務ですので年末年始以外は、誰かが居ります。植物については私が不在の場合、小川上席学芸員がいれば、ご質問にお答えできます。お気軽に博物館にご連絡ください。メールも大歓迎です。